

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] サクビトリルバルサルタン(ARNI)が糖尿病管理と尿中 C ペプチドに与える影響についての後方視的検討

[当院研究責任者] 部署名 内分泌・代謝内科 氏名 吉岡修子

[研究の背景と目的] サクビトリルバルサルタン(ARNI)は慢性心不全と高血圧に対する治療として用いられていますが、サクビトリルが阻害するネプリライシンは、GLP-1を含む多くのペプチドを基質としており、PARAGON-HF 試験、PARADIGM-HF 試験の事後解析において HbA1c の改善に影響したとの報告があります。また ARNI の使用によって 1 日尿中 C ペプチド (uCPR) が異常高値を示したという報告が複数あります。従って ARNI の使用が糖尿病管理やインスリン分泌能の把握において影響を与える可能性があり、当院においても ARNI 使用がこれらの因子に与える影響を検討することは大きな意義があります。この研究は、当院で血糖コントロール目的に入院した 2 型糖尿病患者において ARNI の使用が、HbA1c、血圧、脂質、C ペプチド等に与える影響を検討することを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2020 年 8 月以降、当院内分泌代謝内科にて血糖コントロール入院した 2 型糖尿病患者 計 510 名

●研究期間： 実施許可から 2026 年 5 月まで

●利用する検体、カルテ情報

年齢、身長、体重、性別、飲酒喫煙歴、生化学検査

●検体やカルテ情報の管理

データは当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 内分泌・代謝内科 氏名 吉岡修子

---

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139